

当該事案について、芦屋市議会ハラスメント等防止に関する指針に沿った対応を求める申入れについて

議長 松木義昭様

副議長 青山暁様

2023年3月20日

会派に属さない議員 山口みさえ

あしやしみんのこえ 中村りょうすけ

たかおか知子議員が、昨年訴えたハラスメント事案に関しまして、2023年3月17日の全体協議会（以下、全協）において、議長より経過報告を受けました。

まず確認をさせていただきますが、今回のハラスメント事案は、昨年3月に作成した「芦屋市議会ハラスメント等防止に関する指針」（以下、指針）に基づいて議会で取り組まれたもので間違いありませんか。

また議員相談員が、たかおか議員の要請を受けただけでも、要請内容が相談員の受ける範囲を超えると判断し、指針に基づき専門家に入ってもらおうよう議長に相談があり、議長が第三者の大阪弁護士会の弁護士（以下、報告者）お二人に、たかおか議員同意のもと調査を依頼され、3月7日にその調査結果の報告書を市会事務局が受け取ったということでした。

指針では「専門家等の意見を聞く必要があると判断した場合は、そのような措置を取り、対応の参考とする場合がある」となっていますので、調査結果の報告書を参考資料とされるのは当然ですが、3月17日の全協は、今回の報告書の結果を、たかおか議員が現在どう受け止めているかという事と、たかおか議員が弁護士に提出した録音テープがご自身の不利なところを削除して提出したのはなぜかの2点を聞くために開催されました。

一番肝心のハラスメントの有無について、報告者は「ハラスメントは存在しなかった」としていますが、たかおか議員は「ハラスメントがあった」という認識は変わらない。と明確に伝えられました。

録音テープを削除して資料として提出した理由については、不利なところを削除改ざんしたのではなく、家族のプライバシーを守るためと、問題の本質的でない部分の証拠の提出は不要と考えたため編集したと述べられ、ただハラスメント認定の調査をするときに、証拠を勝手に編集したことは大いに反省されていました。

17日の全協で、議長が用意した報告書の抜粋資料を、10分間各議員が黙読しましたが、限られた資料、限られた時間の中で感じたことは、

- ① 10月6日の代表者会議のことが書かれていましたが、たかおか議員はこの日の会議で、議長たちから職場内における優位性を背景に業務の適正な範囲を超えて精神的な苦痛を与えられハラスメントを受けたと主張したことに対して、報告者は会議の中で、個人名は示されず匿名だったことでハラスメントに当たらないと結論づけています。指針では「ハラスメントを指摘され、被害者との間で認識の違いがあると分かったときは、まず被害者の気持ちになって理解に努める」となってい

ますが、この視点が報告者にかけている。

- ② 報告者が、ハラスメントとして認定をしない理由に、たかおか議員が自分に不利な録音データ 2 件を意図的に削除編集したと結論づけていますが、なぜ削除編集したのかという理由をたかおか議員に確認していない。
- ③ たかおか議員は、11 件のハラスメントを訴えているのに関係者の聞き取り調査等が不十分。

そして各議員からたかおか議員への質問では、「ハラスメントは存在しないのに、証拠を改ざんして被申立人たちを陥れようとしたとさえ思える」という発言まで飛び出しましたが、報告者がそのような意図をもって調査報告を出されたのか確認する必要がある、このままではハラスメントの 2 次被害が発生する可能性もあると懸念しています。

73 ページにわたる第三者調査報告書について、全文の報告を求めます。(もちろん個人情報部分はマスキング) と同時に報告者の説明を求めます。

最後に、この問題に関する 3 月 17 日の代表者会議での調査報告及び、本人が出席できるかどうかを確認することなく 3 月 18 日に全協の開催を代表者会議で決めたことは、指針を逸脱しており(指針一部抜粋参照)議長、副議長がハラスメント問題に真摯に向き合っているのか疑念をもつものです。

議会で発生した、ハラスメント問題を第三者調査報告及び指針に沿って検証すること。(第三者報告はあくまで参考であり、ハラスメント認定の有無は現時点で議会の結論はでていない)

芦屋市議会が、ハラスメント問題で再び汚点を残すことがないように解決にあたっては、被害者救済の視点で取り組むよう申し入れます。

以上

(指針一部抜粋)

芦屋市議会議員はハラスメント事案の対応に当たっては次のことに留意します。

- ① ハラスメント事案は相談者が何を求めているのかを確認して対応しなければならない。
- ②
- ③ ハラスメント事案は相談者以外から聞き取りや調査を行う時は、その旨相談者の同意を得なければならない。
- ④